実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和６年度
助成団体	一般社団法人全日本実業団空手道連盟
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	第４回全日本実業団空手道選手権大会
助成金額	2,360,000 円

令和 6 年度スポーツ団体スポーツ活動助成を受け、一般社団法人全日本実業団空手道連盟が令和 6 年 9 月 15 日に開催した「第４回全日本実業団空手道選手権大会」の実施状況について調査を行いました。一般社団法人全日本実業団空手道連盟は令和 2 年度に法人化された団体で、令和３年度に「全日本実業団空手道選手権大会」の第 1 回大会が開催されました。以降、西日本、東日本各地区大会及び全自衛隊空手道選手権大会の上位入賞者が一堂に集い、全国の企業・団体で働く空手選手の日本一を決定する大会として継続的に実施されています。

本大会は、社会人となった空手選手が引き続き日頃の鍛錬の成果を発揮する機会を創出するとともに、生涯空手道の一環として幅広い世代の空手道愛好者に活躍の場を提供する事を目的として行われており、今回調査対象とした令和 6 年度は 422 名が参加し成功裏に大会を終えることができたそうです。

■助成の意義

従来は、申込受付から競技の採点に至るまで全て運営スタッフが対応していたため、運営スタッフや作業時間の確保に苦慮していましたが、助成金を活用して大会運営システムを導入することにより、事務負担の軽減に加え、より正確かつ円滑な大会運営を実現できたそうです。実際に、大会の参加者数は 368 人から 422 人に増加したものの、運営スタッフ数は 166 人から 123 人に減らすことができました。

■事業効果を高めるための取り組み

大会の周知については、連盟ホームページに実施要項等を掲載するだけでなく、導入した大会運営システムのメール機能を併せて活用することにより、より広く、より円滑に周知・募集を行うことができたそうです。また、大会終了後には連盟ホームページに結果や当日の写真、動画を掲載し、実施状況を公開しています。

■所感

今回、「社会人の空手選手は、働きながら空手道に精進することにより、競技面の強さを身に付けるだけでなく、企業の一員として社業においても貢献できる人材となることが大切なことであり、ひいてはそれが社会貢献につながる」というお話を伺い、学生スポーツやプロスポーツとしての空手道とは異なる角度から競技を捉える貴重な機会となりました。

また、本大会が日頃限られた時間で積み重ねた鍛錬の成果を発揮する場であるだけでなく、「勝ち負けのみならず礼節も重んじる」という一社会人としての教育の場にもなっていることを感じ取ることができました。

本大会がこれからも継続して開催され、生涯スポーツとしての空手道の普及に寄与していくことを期待しています。

（令和７年 11 月８日往査）

（写真）第４回全日本実業団空手道選手権大会の様子（※提供：一般社団法人全日本実業団空手道連盟）



